

## 蓄電池の実質の最大容量を簡易計測する方法

1. TOU モードにして、その日の 0 時までには 100%になり、翌日の放電で 0%になったことを確認できるような充放電時間を設定してください。以下はその設定の参考例です。

充電 (100%まで)	放電 (0%まで)
開始時間 19:00	開始時間 00:00
終了時間 23:59	終了時間 22:00

太陽光発電の余剰電力優先順位 ⇒ 売電優先

電力系統からの最大充電電力 (kW) ⇒ 1.5kW (蓄電池が 5kWh)

3.0kW (蓄電池が 10kWh)

4.5kW (蓄電池が 15kWh)

3.5kW (蓄電池が 7kWh)

7.0kW (蓄電池が 14kWh / 21kWh)

2. バックアップ電力 SOC を 0%に設定してください。
3. 翌日 (0 時以降) は可能な限り消費して蓄電池の残量を 0%にしてください。  
※より早く蓄電池の残量を 0%にするにはパワコンの DC スイッチを OFF にして太陽光発電を止めます。
4. 蓄電池の残量が 0%になったら当日の放電容量を確認してください。

例えば 10kWh の蓄電池で当日の放電容量が、

9.6kWh であれば、初期実効容量は 9.6kWh なので、0%の劣化です。

9.12kWh であれば、初期実効容量は 9.6kWh なので、5%の劣化です。

5. パワコンの DC スイッチを OFF にした場合は ON に戻してください。  
運転モードなど設定変更した箇所は元の設定に戻してください。

※この計測法は簡易的なもので実証実験したものではないため、参考程度にしてください。